長崎県中山間ふるさと活性化基金

1. 事業の目的

中山間地域における農地や施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、地域住民活動を推進する人材の育成、農地や施設の利活用及び保全整備等の促進に対する支援を目的とする。

2. 令和6年度の実施状況

（1）県民への情報発信

農村への関心を持ってもらうことと、地域の良さを再発見してもらうことを目的に、情報誌を県内各市町、振興局等の行政機関窓口とJA等に配布。

（2）ボランティアと農山村集落の共働による農山村資源保全活動

令和2年度から、県がボランティアセンター（NPO法人）に委託して、社会貢献に前向きな企業等を募集し、農地、農業用水路や農道等の維持管理が困難となっている地域に派遣して、ボランティアと農山村集落の住民が共働して保全活動を実施している。

【取組の状況】

長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、東彼杵町の12集落とマッチングを行い、企業や学校などと共同活動を実施。（R6 年 12 月末時点）

今後、18集落と企業・学校等とマッチング予定。

3. ボランティアと農山村集落と共働による農山村資源保全活動の実施状況

●令和6年1月 19 日実施（長崎市千々木場集落、大和リース㈱）

共働作業内容

耕作放棄地の復旧補助

●令和6年3月 10 日実施(東彼杵町新井手営農集落、Re:R)

共働作業内容

ワイヤーメッシュ敷設補助

●令和6年7月 28 日実施 (大村市北野岳集落・南野岳集落、ひぜん里山学舎、ハーモナイズ。)

共働作業内容

用水路の清掃(草刈り)

●令和6年 11 月 11、14 日実施(佐世保市末橘集落、夕霧の里山保全の会)

共働作業内容

農道補修生コン打ち、ワイヤーメッシュ張り

ボランティアと農山村集落の共働による集落維持活動事業費

・農山村集落では人口減少、高齢化により、集落の保全活動が困難となっていることから、県がボランティアセンター（ＮＰＯ法人）に委託して、学生、定年退職者等の個人、社会貢献に前向きな企業等を募集し、農地、農業用水路やため池等の維持管理が困難となっている地域に派遣し、農山村集落の住民との共働による保全活動を実施する。

事業の概要

①学生、定年者等の個人
②社会貢献に前向きな企業
③川下自治会　　等
多様な外部サポーターとの共働による、農地等地域資源の保全管理に取組む集落を支援する。
事業実施にあたっては、①～③の各ボランティアと農山村集落間の保全活動内容の調整等を支援する業務をボランティアセンターに委託する。

【ボランティアセンターの業務】
・ボランティア活動を希望する受入集落との打ち合わせ
・関係市町、県（出先機関含む）との調整
・ボランティアの募集、調整、派遣
・ボランティア活動の情報発信

〇成果

・集落の共同作業の実施が困難となっている地域に対し、中山間ボランティアセンターを介して、社会貢献に前向きな企業をボランティアとして集落に派遣。
・受け入れた集落からも、感謝の声があり、ボランティアとして参加した企業も社会貢献活動実施の達成感を得ることができた。
・集落とボランティアに参加した企業の関係が構築され、深化が見られる地区もあり、一定の成果が上がってきている。

〇課題

・ボランティア受入れ検討可能集落に対し、集落との共同活動への参加に意欲的な企業数が不足している。
・企業は都市部に偏在しており、農村部には企業数が少ない。都市部から農村部への交流にどのようにして呼び込むかが課題。

〇方向性

・社会貢献に前向きな企業を対象とした長崎県 SDGs 登録制度があり、登録企業を対象として、電話連絡や直接訪問するなどして意向を確認。
・共働活動の実施状況について、HPで情報発信を実施。参加企業のイメージアップを図るとともに、集落に対する共働活動の説明資料として活用。